

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室



保守連合会派所属議員

こどもマラソン大会開催

第 45 回町田市こどもマラソン大会が開催された町田市陸上競技場に、小学生 4 年生～6 年生の有志 2500 人以上が集まりました。市長、議長（吉田つとむ）、衆議院議員の順に挨拶しましたが、私はその出場者、家族、支援の関係者がこのマラソン大会にかかわってもらったことに感謝を申し上げました。この挨拶では、出場者全員が小学校名と学年が記載されたゼッケンを付けていたことが印象的であったので、少し古めかしい表現ですが、「学校の名誉をかけて、頑張っしてほしい」と述べました。



写真は藤田学議員から提供を受けたもの

レースでは、スターターも務めました。第 2 レース（4 年男子 2 組目の出走）を担当しましたが、一度に 200 人以上が同時にすることで、1 列目と 2 列目の間に間隔を設けられてはいたしましたが、詰まった感は脱げえないものでした。このこどもマラソンの出場者からは、中学校の東京都大会で活躍する選手、あるいは全国クラスの選手も幾人も出ており、晴天の中でスターター役を無事に終えたことを光栄に思えました。

映画祭開催と、その意義

第 3 回鶴川グローイングアップ映画祭ショートムービーコンテスト授賞式が開催され、受賞作品の上映がポプリホール鶴川で開催されました。全国を対象にした作品募集で外国人の方を含めて、今回過去最高の作品が寄せられたとのことでした。また、2018 年の作品募集も公表されました。市長賞に続いて、市議会議長賞が発表され、対象者の方に賞状と副賞を手渡ししました。その上位賞には、準グランプリ、グランプリ賞があり、そのトップには「おしゃぶり」（黒田航大監督）となりました。高校生活のイジメを取り扱ったもので、無視＝おしゃぶりの姿が印象的でした。市議会議長賞には、「虫愛でる姫」（能勢 広監督作品）となりましたが、小学生が「蚕の誕生から、餌を食んで成長してさなぎになり、繭玉を作り、羽化して行く」ことの世話をする姿を追いかけた作品でした。その蚕と小学生児童の双方の成長が織り交ぜながら美しい映像となっていました。

私は、ユーチューブに動画を多数アップし、人気を博していますが、こうした時間と手間をかけた作品にはきめ細やかさ、温かみがあって遠く及ばないものです。



町田市議会議長賞 ¥20,000
能勢 広
「虫愛でる姫」

消防庁第九消防本部見学

南多摩市議会議長会（伊藤裕司 八王子市議会議長）は、第九消防方面本部消防救助機動部隊を訪ねました。町田消防署の上部機関は、この第九消防方面本部になります。

この消防救助機動部隊では最新機器装備と、機動力を持ったレスキュー部隊のデモを見せていただきました。放射線災害、生物災害、毒劇物・危険物等の化学物質災害等のNBC災害に対応するための部隊です。東京の各消防方面本部では最新と言えましょう。⇒（ということは、日本全土で最新）それらを直に見せていただいたのは最良でした。



上記の写真は、車両の後部に、迫り出しのスペースを持っており、被害にあった対象者を病院に搬送する前に除染作業を行うものです。劇物や毒物に汚染された可能性がある患者の衣服を切り捨て、全身をくまなく水洗するシステムです。病院の医師・看護師の 2 次汚染を防御するために開発されました。もとより、救急隊員は防護服を着用し、自身も

汚染されないように、務めます。

そうした防御態勢では、以下の写真のように、救助隊員が内部の空気圧で防護服を膨らませた状態で、救援現場に入ることがあります。サリン事件において、その救援に当たった隊員自身が被害にあった事例が起き、そうした経験からこのような防護服が開発されたものです。



そのほか、東日本大震災時、福島原発事故に際して、放射性物質の高濃度汚染の現場で活躍した大型高所放水車（現場に置いてきた）の後継機種などの見学、あるいはハイパー訓練を見せていただきました。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail: yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

★政党無所属・市議会は保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生募集中

研修レポート⑱宇都木彩名

研修は普段、町田を拠点として行っています。そのため、本日は少し視点を変えて都心の方に赴きました。私は学校も東京の端の方にあるため、都心へ行く機会がほとんどありません。あまり行く機会がない場所に向かったの、ワクワク感が止まりませんでした。

私たちは始めに新宿に行きました。新宿駅は人の多さで活気溢れており、駅の近くでは店頭販売をしている箇所が多く見受けられました。店頭販売しているお店の一つとして、私たちは「福助」というコーナーに注目しました。調べてみると、「福助」という会社はもともと足袋を主に販売していた企業です。現在は高性能なソックスも販売しております。私は靴下専門店にはあまり行かないので、このような店頭販売は新しいお店に足を運ぶ良いきっかけになるのではないかと感じました。

* (吉田つとむのコメント)「福助」は、私が子ども頃は老舗の大企業のイメージでした。女性用のストッキングの開発で遅れを取ったのでしょうか?でも、街頭PR販売のスタイルが面白く、私が即興でPR役(動画アップあり)を買って出ました。



「ソックス」で男を上げる」というキャッチがつけられていましたが、その効用は?

そのあと私たちは新橋に行きました。新橋では競馬のジャパンカップについて多くの広告が張り出されています。ジャパンカップは11月26日に東京競馬場で行われました。それに先駆けて駅の地下ではイベントが行われており、キタサンブラック号の模型が展示されていました。ここでは騎乗体験もできるのですが、会場では記念撮影のみを行いました。馬はとても大きく、乗ることも大変なのではないかと感じました。この馬に乗り、走り回る競馬は迫力がすごく盛り上がるのだらうと思います。



この日は、自分が普段触れない様々(都会の大きなイルミネーションを含めて)なものに接することができました。都内を歩くと最近のファッションの流行や開催されるイベントなど、最新情報を入手することができるのだと知りました。都内は人口が多いため、多くの人に伝えたい情報や楽しみが溢れているのだと感じました。

地方には地方の、都心には都心のそれぞれの良さがあることを実感しました。

津田塾大学1年 宇都木彩名(第39期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室

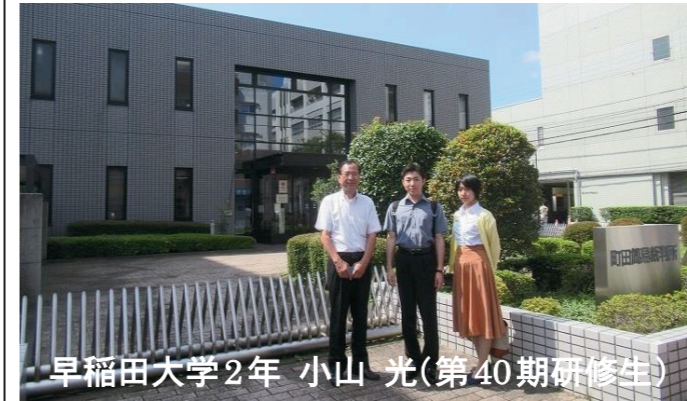


市議会の傍聴・見学

研修レポート⑥小山 光

町田市にある簡易裁判所にて職員の方にお話を伺いました。簡易裁判所は日常生活において発生する請求金額が少額な訴訟などの軽微な民事事件・刑事事件を迅速に処理するための裁判所です。裁判所では裁判の主な舞台となる法廷や、裁判官たちが事件の詳細や判決などについての議論を行う会議室、離婚調停をはじめとする業務に使われる調停室とその書類の一部などを拝見させていただきました。

町田の裁判所にて行われる裁判はさほど多くはないようで、それはすなわち、町田市近辺において法律的に争うような事件が少ないことを示しているため喜ばしいことだと感じました。簡易裁判所のすぐ隣には町田市の検察事務局などの行政施設が建っていました。町田市役所と町田市議会の議事堂の関係も含め、司法・立法・行政の三権分立を物理的に表現しその潔白性を示そうという意図が見受けられ、その徹底ぶりに驚かされました。ニュースなどで司法への批判が増えている今日、一法学部生として名実ともに分立が実現することをあらためて望んだ一日となりました。



早稲田大学2年 小山 光(第40期研修生)

インターン生募集の案内

吉田つとむの第41期インターンシップ生の募集を行うことにしました。期間は、2018年の春、あるいは夏の期間に、研修を行うものです。基本的な参加回数は、合計10回を目安にしていますが、その都度(近年では)毎回レポートを提出することを義務付けています。

吉田つとむがインターンシップを開始したのが1998年ですので、この企画はスタートから20年を迎えたこととなります。珍しいケースでは、姉妹、姉弟で参加した学生もありました。これまでに、79名(女子49名、男子30名)が参加し、その大半が企業に就職しています。一部に、創業したり、あるいは資格(司法試験合格者が3人目)を取ったり、公務員になっている社会人もいます。



また、参加の時期や期間では、3年生になる前の春休みや、3年の夏休みが多いのですが、1年生の時から参加する学生も1割以上います。吉田つとむのインターンシップは、各学生に合わせた個別対応方式が特徴としています。ぜひ、皆さんも応募してください。

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)